

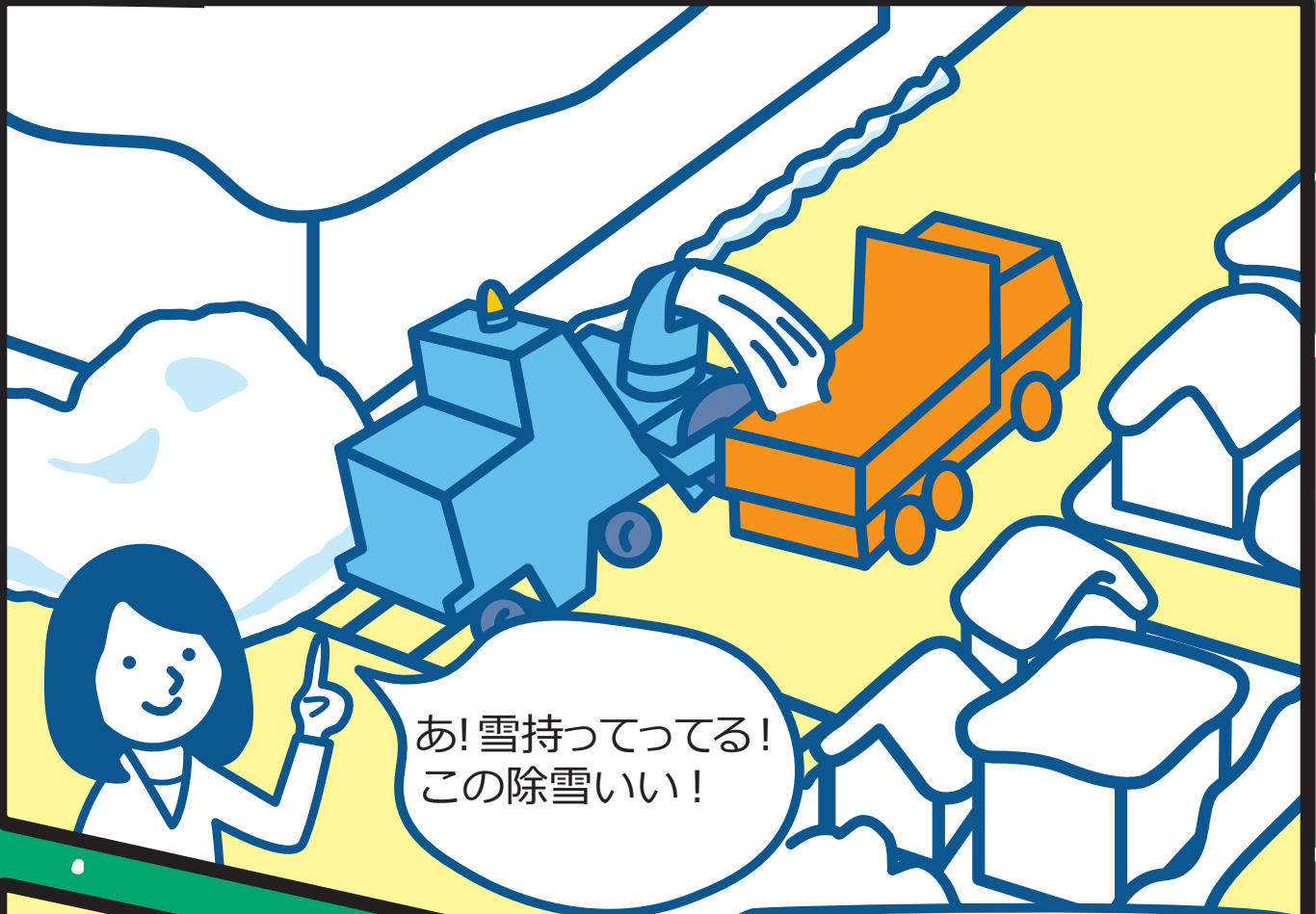


冬みち便り

light

Vol.3

この「冬みち便り」は、南区にお住まいの皆さんが日頃疑問に思っていること、不思議に感じていることにお答えするものです。
今回は「雪を持っていく回数をもっと増やせないの？」です。



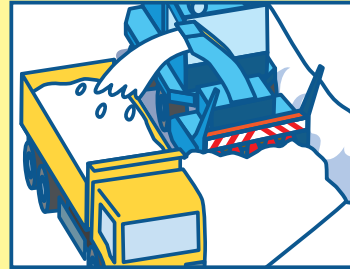
排雪には非常に多くの費用がかかる上、雪を積んでおく雪堆積場の確保などの課題が多いため、これ以上回数を増やすことは難しいんです。

除雪とは



主に雪をかき分ける作業のことで、機械で除雪のできる道路が対象となります。

排雪とは



道路の雪山を雪堆積場や融雪槽へ運ぶ作業のことです。多くの機械やトラックが必要なため、多額の費用がかかることから、対象となる道路は、幹線道路などに限られます。

除雪と排雪にかかる機械・作業員・費用のちがい

※片側3車線の道路の場合

除雪

機械 6台 (グレーダ×4台、タイヤショベル×2台) + 作業員 12人

排雪

機械 4台 (グレーダ、タイヤショベル、大型ロータリ、バックホウ) + 作業員 約30人

ダンプトラック 10~20台

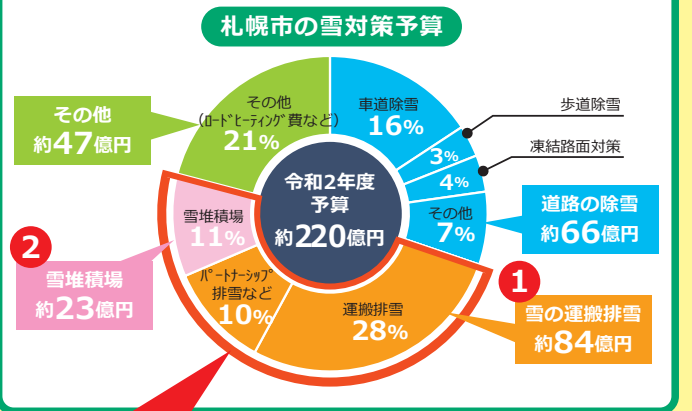
1キロメートルあたりの費用は
除雪 約3万円 **排雪** 約240万円

「排雪」にかかる費用は「除雪」の**80倍**

お金（予算）

雪対策予算の約半分が「排雪」に関する費用です。

排雪は、多くの人員や機械が必要なため、除雪の約80倍もの費用がかかります。また、令和2年度の札幌市の雪対策予算は約220億円ですが、そのうち「排雪」に関する費用は全体の約半分以上を占めています。



① 雪を運ぶ費用【約84億円】 + ② 雪を積んでおく費用【約23億円】 = 「排雪」に関する費用 (全体の49%)【約107億円】

都市の暮らしを支える幹線道路は、車の流れをスムーズにすることが重要なため、排雪によって、広い通行幅を確保することとしています。一方、生活道路は、除雪によって、車と人が通行できる最低限の幅を確保することとしており、市単独での排雪は行っていません。

除雪と排雪の対象路線

	幹線道路 (バス通りなど)	通学路	生活道路 (住宅街の道路)
除雪	○	○	○
排雪	○	△ (一部のみ)	※ (支援制度で対応)

※生活道路排雪の支援制度 (ご利用はひと冬に一回となります。また、双方の制度を併用することはできません。)

パートナーシップ排雪制度

地域と市の双方が費用を出し合い、除雪事業者を含めた三者が協力して生活道路の排雪を行う制度

市民助成トラック制度

市がダンプトラックを無償で貸し出し、地域の皆さんが雪の積み込み作業や安全管理などを行って生活道路の排雪を行う制度

予算や機材には限りがあるため、すべての道路を排雪することはできません。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

○発行／札幌市南区土木部維持管理課

○お問合せ／区の除雪事業について ▶ 札幌市南区土木部維持管理課(南区土木センター) 電話:011-581-3811

区の除雪作業について ▶ 北地区除雪センター 電話:011-583-6851

▶ 南地区除雪センター 電話:011-573-9222

※除雪センターでは、通話の内容を正確に記録し、適切な対応を行うため、すべての通話内容を録音しています。

※お住いの区域の除雪センターについては、冬の暮らしガイドや、札幌市南区ホームページにてご確認ください。

● 次回のリーフレット発行予定／第4号 2月

このリーフレットのバックナンバーを札幌市南区ホームページに掲載する予定です。

札幌市南区 除雪関連

検索

SAPPORO



さっぽろ市
02-002-20-1805
R2-2-1157